

## ◆ 巻頭言

2010APEC 女性リーダーズネットワーク  
会合に向けて

帯野 久美子

9月19日から3日間、APEC女性リーダーズネットワーク(WLN)会合が開催される。WLNとは、APEC加盟の21エコノミーから、産・官・学・NPOなど、あらゆる分野で活躍する女性リーダーたちが集まるAPEC非公式会議の1つだ。私は、2007年オーストラリアのポートダグラスで開かれたWLNに参加した。時の男女共同参画大臣・高市早苗氏が招聘されたが公務で都合がつかず、代理で私が出席したものだ。

とは言え、当時はWLNなるものの正体もわからず、全体の様子がかめたのは会議も終盤に近づいたころ。わかったのは、WLNはネットワークの形成の場であるということだ。会議そのものも重要だが、それにも増して意義深いのは、会議の合間のランチ、コーヒープレイク、ディナー、エクスカッションなど。リーダーと名はついて、互いにファーストネームで呼びあう、気さくで飾らぬ女性たちが、語り、笑い、互いを知ることによって世界に輪を広げていく。

このような会議に、一人でも多くの日本女性に参加してもらいたいと思っている。それも首都圏のキャリアを積んだ女性だけではない。各地で、農業、漁業、そしてスモールビジネスに生きる女性たちに、世界の参加者と触れあうことによって自分の生き方を再発見し、それを地域に広げていってもらいたい。

日本の男女共同参画は、ややもすれば、女性を社会的に不公平な立場に置かれた者と捉えすぎてきた。女性固有の問題解決が必要であることは言うまでもないが、時代は重厚長大から成熟社会へと移りつつある。成熟社会のキーワードは多様性。そこでの主人公は女性たちだ。地域に生きる普通の女性たちが自由にさまざまな形で経済活動に参加できる——2010APEC女性リーダーズネットワーク会合がそんな国づくりのきっかけになればと願っている。



## PROFILE

帯野 久美子  
(おびの くみこ)

(株)インターアクト・ジャパン代表取締役。  
2010APEC WLN会合実行委員会委員。  
大学卒業後、翻訳業などを経て1985年同社設立。2009年より和歌山大学理事(国際交流・男女共同参画担当)／副学長。内閣府男女共同参画会議議員、(財)国際観光サービスセンター理事、(社)関西経済同友会常任幹事等を務める。